

みでの

永平寺町議会
だより



つなぐ

第83号

INDEX

令和8年8月21日発行

新議会紹介

議長・副議長あいさつ P2~3

新議員の抱負 P4~5

そこが聞きたい!

議員12人が一般質問 P11~15



応援お願いします!

永平寺町議会
facebook

永平寺町議会

検索

議会だよりは
こちらからも

ご覧いただけます▶



永平寺町
LINE



永平寺町
防災メール



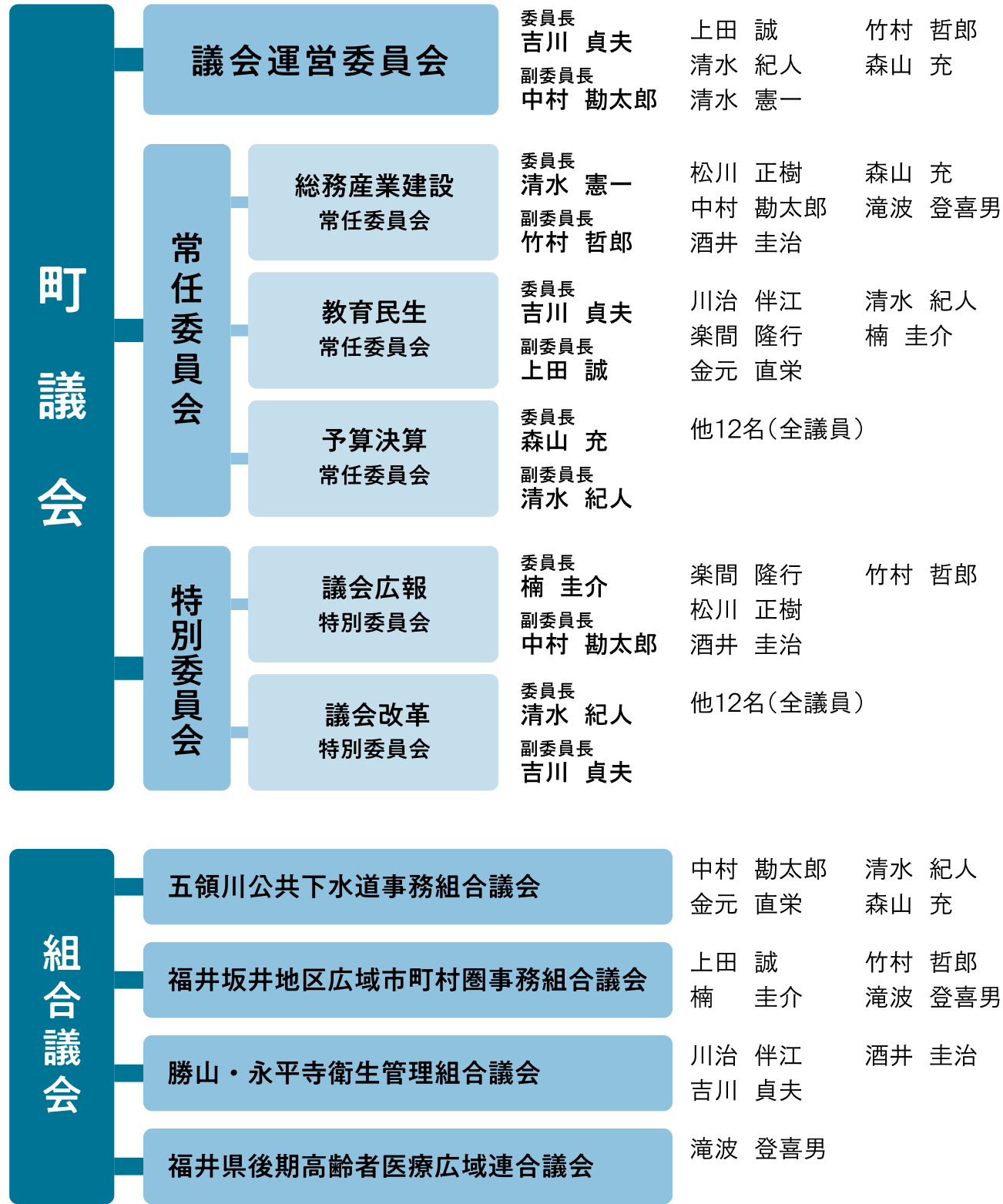
議会の新構成

令和8年8月1日より

議長
滝波 登喜男

副議長
楠 圭介

議会選出監査委員
松川 正樹



議長就任ごあいさつ



議長
滝波 登喜男

残暑の候、町民の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より当議会に対し、温かいご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

この度、八月の臨時会において、議長の要職に就かせていただきました。議長職の責任の重さを十分認識し、誠実にその職責を務めてまいります。

さて、この七月の町議会議員選挙は、前回に続き無投票となり、しかも定員不足で再選挙が実施されるのではとの報道がありました。

ました。町民の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。このような事態となったことを深く反省すると共に、後継者の育成や議会活動の発信、環境の整備などに努めてまいります。

町民の皆様におかれましては、議会に対して様々なご意見・ご助言・ご苦言など何でも結構です。お寄せください。

最後に、町民の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りしまして、議長就任のご挨拶といたします。



副議長就任ごあいさつ



副議長
楠 圭介

少子高齢化による人口減少の影響を受ける地域では、世界情勢の悪化、物価高騰も更なる逆風となり、これまで当たり前であった地域の暮らしや活動を維持することが難しくなってきたと感じていると思います。

地域も家族も会社も全てにおいて、やはり「受け継ぐ人」がいることが何よりの希望であり、世代の循環が生まれない先には「終わり」しかありません。放っておけば確実に減少していく次世代を担う人材の発掘、育成こそ地方政治に課せられた命題であると私は考えます。

その中で議会、または議員として何ができるのか。何をすべきかをしっかりと見極め、ひとつひとつ行動に移して参ります。

4年間の

議員活動

私はコレを

やりたい!!

医療福祉・子育てをもっと身近に。支え合い、誰もが安心して暮らせるまちへ。



住民一人ひとりの声に耳を傾け、医療・福祉・介護・子育ての充実に取り組みます。誰もが安心して暮らせる環境を整え、笑顔と希望あふれる地域づくりを目指します。

こどもから高齢者まで煌めくまちへ！



子育て支援、高齢者・障がい者支援の充実と町民参加のまちづくりを推進し、永平寺町が「住んで心地よいまち」「安心安全なまち」の実現を目指して活動します。

議会の抜本改革



「住民自治、一歩前へ」をテーマに立候補しました。議会本来の役割を認識し「住民自治は永平寺に学べ」と言われる様な自慢できる町づくりこそ住民の希望ではありませんか？

「永平寺町に危機迫る！」と町議会議員として残り少ないので申し上げます。



行政に煙たいことや厳しいことを申し上げるのが、私共の役割なのですが、細部にわたって議会で起きている全てを言っていないかもしれません。よって深く反省し、今後改めます。

釈迦にも説法（正しい道への行動）



初心に戻り、住民の福祉を考え、民主的に公平な住民全体の代表者である事を肝に銘じる。そしてもう一つは、議会改革！相互に話し合って理解し合い、決めることが出来る組織づくり。

持続可能な共生（助け合い）社会の実現に向けて!!



少子高齢化は地域の維持や暮らしを脅かす中行政と住民、住民間での共生社会の実現が不可欠。構築の基本である希薄化したコミュニティの回復、助け合い、支援体制の充実を図る。

「良い町やの」と言われる町めざして



住むんなら永平寺町と言われる町めざし、誰もが「住みやすい町、暮らしやすい町」へと、こつこつ発信しつづけたい。

住民サービス充実のための効率的な議会改革



人口減少を見据え、限られた人材と財源を有効活用し、行政サービスや地域活動など、その時々地域課題解決に取り組みたい。

高齢者の足の確保、観光客への二次交通の提供



世間では人材不足が言われている中、高齢者の移動手段の確保は急務。どんどん縮小していく公共交通が観光客の選択肢を狭める事にならぬ様、町が下支えする必要がある。

町政の発展に全力で



町の将来像を見据えた持続可能な地域づくりをめざし、住民が安心して暮らせる福祉・教育環境の充実や地域産業の活力を生む実効性ある施策を進めながら、町民参加の開かれた議会運営に務めたい。

最年少だからこそその行動力を議会へ



町内に留まらず他市町の議員や住民とも情報共有をし、課題解決に向けて行政や議会、そして住民の皆様へ想いを訴えかけたい。未来は、行動する人が創る。

更なる魅力ある町への成長



子供は成長する。成人も高齢者も、まだまだ成長する。それには、それぞれの成長に則した、更なる魅力ある町への成長が絶対必要。その為なら何でもやります。

スピード感ある町政を促す



行政サイドに「それ、いつまでにするのか？」を愚直に問い続けようと考えています。PDCAサイクルの回転を促します。

町民に信頼され、魅力ある議会を目指して



議会が信頼され魅力ある場となるためには、町民にとって身近な存在となること。議会広報のより充実や、直接ご意見を頂くような足を運ぶ活動を行っていききたい。

議案への賛成反対討論

承認第5号 町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について

反対討論 金元 直栄

軽自動車の環境性能割を廃止し、単に軽自動車税とする点では①温暖化防止への施策を投げ捨てるもの。②その点では増税となることから反対する。

議案第32号 永平寺町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について

反対討論 長岡千恵子

一般企業と社会福祉法人では事業目的が異なる事から一般企業が指定管理すると利用者への介護サービスの低下に繋がることも考えられる。社会福祉法人は地域福祉や公益性を重視して、利用者個人への支援だけでなく、地域とのつながりづくりや生活課題の把握、他機関との連携など地域福祉の推進という役割を持つ事から条例の第7条2項1の全文を削除する今回の改正には反対とする。

賛成討論 清水 紀人

本改正に賛成する。
第一に、介護人材不足や利用者ニーズの多様化が進む中、事業者の参入機会を広げることで、安定したサービス提供体制の確保につなげる必要があると考える。また、町が適切な指導監督を行い、利用者の安全確保とサービスの質の維持に努めることが重要。

反対討論 金元 直栄

現在、町社会福祉協議会に指定管理者制度で委託している3つのデイサービスセンターの指定管理者を公募する条例の変更で、町で経験のある社会福祉法人から、広域の株式会社まで認めると変更することは、①地域に貢献してきた法人への配慮。②この条項がないと、どこからでも応募が可能となり、逆に採算が合わないと突然の撤退もあり得る。それに社協の窮状には人手不足がある。せめて、地元の法人で直接姿の見える事業所に任せられる条件づくりこそ必要で、この改定案には反対する。

賛成討論 森山 充

賛成の立場から発言する。改正により制度の存続に有用と考える。安定したデイサービスの提供を期して賛成する。

反対討論 上田 誠

デイサービス運営の選定基準から社会福祉法人の条項を削除することは、地域福祉を目的とする法人でなくとも良いこととなり、一般企業や今まで経験、実績のない団体にも参入できることとなる。（全ての企業団体がダメとは言っていない）行政（町）の姿勢にも関わることであり、明記することが必要と考えるため反対の立場をとる。

賛成討論 滝波登喜男

今回の条例改正で一番に考えるべきことはサービスを継続させること。現在利用者がいるので、このサービスが中断することはあってはならない。その可能性があるため、条例を改正するもので賛成する。

賛成討論 楠 圭介

これまで町内の事業者で自己完結をしてきた町の姿勢の重要性も十分に理解でき評価しますが、今後大事なものは、町内外にかかわらず住民にとって「より良いノウハウ」を持つ民間事業者や団体と共に10年先、20年先も住民サービスを維持できる体制を模索していくことだと考えます。

議案第33号 健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

反対討論 金元 直栄

この条例の改定は、温泉施設の入浴料金の値上げに関するもので、現行の入浴料金より条例内で示されている額が相当高くなっていることから反対する。

賛成討論 森山 充

賛成の立場から発言する。施設の存続と安定した運営に有用と考え賛成する。

令和8年 第3回定例会報告

令和8年第3回定例会は、6月2日（火）から6月25日（木）に開催されました。審議された内容は、次のとおりです。

第3回定例会議案

報告第1号 令和7年度一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について 重点支援地方交付金事業等の30事業 15億709万3000円の繰越事業報告	報告	議案第34号 令和8年度一般会計補正予算について 歳入歳出補正額 3億3779万1000円増額 永平寺支所改修工事実施設計業務1452万円 おうちで子育て応援事業768万円 未来に繋ぐふくいの農業応援事業補助金 3545万5000円等	可決
報告第2号 令和7年度下水道事業会計繰越計算書の報告について 公共樹設置事業 135万3000円の繰越事業報告	報告	議案第35号 令和8年度介護保険特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 264万1000円増額 介護給付費準備基金への積立 シニア元気フェスタ諸費用等	可決
承認第5号 町税条例の一部を改正する条例の専決処分の承認について 軽自動車税環境性能割の廃止等に伴う、税条例の一部改正	承認	議案第36号 令和8年度土地開発事業特別会計補正予算について 歳入歳出補正額 1014万9000円増額 土地開発事業特別会計に対する長期貸付金償還金	可決
承認第6号 損害賠償の額を定めることの専決処分の承認について 町道における物損事故にかかる損害賠償	承認	議案第37号 令和8年度上水道事業会計補正予算について 収益的支出 1165万4000円 増額 資本的支出 4567万2000円 増額 デジタル専用線サービスへの移行に伴う通信設備の修繕・重要管路耐震化工事詳細設計業務等	可決
承認第7号 令和7年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 2448万8000円増額 ふるさと納税運営事業業務委託料、広域入所施設片給付費等	承認	議案第38号 令和8年度下水道事業会計補正予算について 収益的支出 2279万8000円増額 資本的支出 5154万5000円 減額 ウオーターPPP導入可能性調査業務・社会資本整備総合交付金事業に係る減額等	可決
承認第8号 令和8年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 47万9000円増額 消防学校等教育入港負担金等	承認	議案第39号 財産の取得について LED照明器具 賃貸期間満了後の無償譲渡	可決
承認第9号 令和8年度町立在宅診療所特別会計補正予算の専決処分の承認について 1293万6000円増額 医療費返還金	承認	議案第40号 上志比中学校 校舎・ランチルーム棟屋上防水・外壁塗装改修工事の請負契約締結について 契約金額 8039万2400円 契約相手方 株式会社市岡組	可決
承認第10号 令和8年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 100万2000円増額 防災無線修繕 近助タクシー車両修繕等	承認	議案第41号 財産の取得について 小中学校教育用タブレット端末購入 1,343台	可決
承認第11号 令和8年度一般会計補正予算の専決処分の承認について 461万1000円増額 松岡小学校給水ポンプ装置更新工事、消防団員被服費増額等	承認	議案第42号 学校教育に支障のない範囲で、町民に開放することに関して必要な事項を定めた条例制定	可決
議案第32号 永平寺町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例の制定について 令和8年度に、松岡・永平寺・上志比デイサービスセンターを運営する指定管理者を公募する事に関する条例改正。 条例第7条第2項の指定管理者の選定基準を改正	可決	議案第43号 令和8年度一般会計補正予算について 歳入歳出 補正額 360万円増額 学校施設開放に伴う空調設備使用時のガス料金の補正（小・中学校）等	可決
議案第33号 健康福祉施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決		

議案への賛否一覧

議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一 欠席 □ 退席） ※議長（酒井圭治）は採決に加わりません

	中村	長岡	川崎	朝井	清水紀	金元	森山	清水憲	滝波	齋藤	上田	松川	楠
承認第5号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	賛	賛
議案第32号	賛	反	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛
議案第33号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	賛	反	賛
議案第34号	賛	賛	賛	一	賛	反	賛	賛	賛	賛	反	反	賛

※反対または退席があった議案だけ掲載しています。したがって、その他の議案等については全員賛成です。

■お詫びと訂正：議会だより82号9ページに記載した内容に誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

誤	議案第30号	契約金額597億5200万円	➡	正	契約金額5975万2000円
誤	議案第31号	契約金額721億6000万円	➡	正	契約金額7216万円



用語解説

温暖化防止への施策：地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を減らす取り組みのこと。

指定管理者制度：地方公共団体が所有する施設の管理・運営を、民間事業者やNPO法人などに委託できる制度。

現地視察、意見交換、先進地視察をし年間テーマ報告

教
育
民
生
常
任
委
員
会

■高齢者福祉と社会福祉協議会への委託福祉事業

- ①永平寺町社会福祉協議会は、令和7年度にコンサルを依頼して経営および運営について改善計画を作成したので、議会の改選までに懇談会を開催したい。
- ②町事業の配食サービスは、独居高齢者宅や老々世帯を訪問する絶好のチャンスである。生活状況を把握することで高齢者と密接な関係を築くことも可能となることから、町職員もボランティアと共に経験してもらいたい。
- ③社会福祉士等の有資格者を採用することは即戦力ではあるが、庁内の福祉に対する意識を向上させるには、福祉関連の資格取得を促進し、人材育成が必要。

■給食、幼保の現状



◎給食

最大の課題は調理員不足。施設面では、老朽化と調理室の狭隘化が顕著。調理員の心理的・身体的負担を増大させている。美味しい給食の提供を維持するため、作業環境の改善や人員確保、地産地消の体制構築。これら山積する課題解決の検討が求められる。



◎幼保

町は、「人を増やす」と「負担を減らす」で維持に努めている。しかし、保育士を目指す若者が減少し供給基盤が縮小している。県は奨学金返還支援や住宅支援などの誘因策に加え、大学・短大との連携強化を行っているが解消には至っていない。今後は、更なる戦略的な人材確保や潜在保育士の復職支援を含む総合的な計画づくりに加え、町全体の将来像を見据えた持続可能な保育体制の検討が求められる。

■地域の担い手不足



町内会・自治体の役員の担い手不足

町内会・自治体は高齢化による役員の担い手不足や、加入率の低下により全国的に存続の危機に直面している。共助の要でもある地域コミュニティをどのように維持していくのか。



地域の拠点の再設計が必要

これまでの地域の拠点は、学校・公民館だったが、世代を超えて人が集まる拠点の再設計、再構築が必要。



組織の弱体化

地域の旗振り役、活性化組織が弱体化してきている。国は地域運営組織の立ち上げを2015年頃から推奨し、全国では成功している自治会・町内会も存在するが永平寺町では、まだまだこれから。

今後の大きなテーマ



変革を迫られる地域コミュニティ。住民が自分達の地域を盛り上げよう、良くしようと自ら立ち上がるためのキッカケを

誰がどのように演出するのか。期待される今後の展望として、新設された地域づくり応援課が、地域住民とのパイプ役として機能。各地域にある振興会や連絡協議会などの組織が、地域の旗振り役として機能。まちづくり会社やスポーツ協会など第三セクターが新しい地域の特色を作れるか。民間事業者の進出を役場と地域が一体となって応援できるか。

議案第34号 令和8年度一般会計補正予算について

反対討論 金元 直栄

町民に必要な予算のあることは認める。この予算案に反対する第①は、子どもの居場所づくり、学校を拒否した子らの居場所づくりは教育委員会の仕事だと思うが、いきなり民間でとなった。これまでの議会からの提起に応えるものではなかった。十分な論議さえなかったように思うが、いきなりとは。②志比南小、吉野小での人手不足からの複式学級の実施と、学校給食の自校方式かセンター化の方向、今年中に決めるとの説明もなかった。③社協のデイサービスセンターの指定管理問題、人手不足が大きな原因にもなっている。社協職員の処遇改善への支援が見られない。④女子トイレの数の確保問題。公共施設のトイレ改修の際の第1課題だが、その方向も見えない。⑤保育士の衣服貸与の問題。今まで気がつかなかったのはどうしてか。等の理由で反対する。

賛成討論 清水 紀人

補正予算に賛成する。当初予算と合わせ、町のニーズを切れ目ない考え、充実したサービスで一歩進んだ予算と認識する。

反対討論 上田 誠

町民の生活に直結した予算であり、子育て保育費地域づくり、インフラ整備等評価できるが①北小利活用を考える会の活動は評価するが、あくまでも再開に向けた施策であること②ボランティア支援も補助というより体制作りの施策であること③子どもの居場所づくり（子育て支援の支援）は評価するが学校教育としての一人も残さない施策も必要と考える点から今後の展望を思い反対の立場をとる。

賛成討論 森山 充

賛成の立場から発言する。この予算の早期成立が住民に利すると考える。速やかな予算執行を期して賛成する。

磨き上げた観光資源を見てきました

総
務
産
業
建
設
常
任
委
員
会

総務産業建設常任委員会では、古墳と気球を活かした観光施設の先進地視察として、大阪府堺市を訪れました。

堺市にあり世界遺産の一部である仁徳天皇陵古墳は人気のある観光地ですが、地上から古墳を見ると森にしか見えません。そこで高所から見れば形が分かり、観光資源としてより魅力が増すと考えたそうです。

実際気球で上がった地上100mからの眺めは素晴らしいようで、遠く東は大阪の高層ビル群から西は瀬戸内海の方まで昼夜問わず楽しめるとのことでした。我々も搭乗して眺めを堪能する予定でしたが、天候不良により施設を見学するにとどまりました。我が永平寺町に応用するにしても、この悪天候がネックになりそうだと考えられました。

永平寺町にある古墳群も山中にあり、姿形を一望するのも困難で観光資源としての活用は現状困難かもしれませんが、何か一工夫する必要性がありそうです。



そこが聞きたい！

6月定例会

一般質問という名の政策提案

12名の議員が
町政全般について、
一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき
質問議員本人がまとめています。



一般質問議事録は
こちらから

一般質問 目次 ▶YouTubeでも視聴できます！

12p	森山 充	◇地域づくり応援課について ◇イベントの効果について	
12p	中村勘太郎	◇学校給食の課題はどうする	
12p	齋藤 則男	◇4期目の町長に望むこと ◇上志比特産ニンニクの焼き肉のたれは今どこに	
13p	楠 圭介	◇永平寺町観光地経営戦略について ◇自転車に関する交通ルール	
13p	長岡千恵子	◇介護用品支給事業の内容変更とは ◇自宅介護者への支援充実を ◇成年後見制度利用の現状は	
13p	川崎 直文	◇地域資源を活用した安定雇用の創出は ◇特色ある地域の稼げる農業を推進は	
14p	清水 紀人	◇新たな防災気象情報の運用について ◇電子回覧板からDX推進について ◇国内外の情勢不安定化による影響について	
14p	上田 誠	◇「総合的な学習(探究)の時間」の現状は ◇急がれる高齢者対策、当町では	
14p	金元 直栄	◇奨学金及び教育ローンの利子に補助を ◇国の食糧法改正のねらいは ◇子ども子育て支援の負担が公的医療保険から徴収されるがこれで子育ての何が変わるのか	
15p	松川 正樹	◇松岡藩の歴史的魅力は満載 ◇えい坊館は松岡藩魅力発信の拠点ではなかったのか ◇東古市のレンガ館はずっとあのままですか ◇東古市の元健康も手をつけられていません ◇志比北小学校施設の利活用を考える会を終えて ◇自動走行断念とのニュースが走ったが ◇何らかの自転車専用道路をつくる気持はありませんか	
15p	滝波登喜男	◇自治会運営への支援 ◇前例のない災害への対応 ◇外部の風を吹き込み課題解決を	
15p	清水 憲一	◇志比北小学校を核とした、志比北地区の今後の地域づくりビジョンについて ◇住民(特に学生)が日常利用する道路に防犯灯の設置を	



議会行財政改革特別委員会レポート

議会モニターについて

町と関係のある複数の団体に依頼し、4団体7名から承諾をいただき、7月9日(木)に委嘱式が行われました。

議会モニター推薦団体名

農業委員会

商工会

PTA連合会

男女共同参画推進ネットワーク



令和8年度 議会モニターの年間業務

- 会議を傍聴し、当該会議の運営に関する意見等を提出していただきます。
★議会(委員会)を年1回以上、傍聴またはケーブルテレビの中継・録画、一般質問の
ユーチューブ配信をご視聴の上、感想・意見・提案を寄せていただきます。
★提出については、持参、郵送、FAX、電子メール等をお願いします。
- 「永平寺町議会だより」「永平寺町議会ホームページ」「議会SNS(フェイスブック等)」など
に関する感想・意見・提案を文書・電子メール等により提出していただきます。
- 議長が依頼した場合には、町議会の運営に関する調査事項に回答していただきます。
★「議会と語ろう会」「意見交換会」に出席の上、その運営方法などについて意見・提言をいた
だきます。
★議会の改革・活性化策などについて、意見・提案をいただきます。
- その他議長が必要と認めたこと。

合併20周年検証プロジェクト会議

委員長(楠)と議員年数の長い6名の議員とで町村合併前に制定された「新町まちづくり計画」の施策
を振り返り、20年前の構想が現在どうなったのかを各担当課より説明を受けました。

計画は守るものではなく、時代にに合わせて育てるもの

変化の激しい現在のような時代では、今日の常識が数年後
には古くなることも珍しくありません。だからこそ大切な
のは住民の声や社会の変化に応じて柔軟に見直していく姿
勢です。今回の計画検証会議では、未来を見据える視点と
変化に素早く対応する行動力こそが、これからの行政に求
められると改めて強く感じました。



永平寺町観光地経営戦略について

楠圭介議員



永平寺町観光地経営戦略

問 町が行う観光事業は、そのものを肥大化することが目的でなく、《自分達の生活の何に繋がっているのか》《地域が豊かになったのか》を住民が実感することが成果の物差しであるべきと考えるが行政の認識は。

商工観光課長 人口が1人減少すると139万円の消費が地域から失われると観光庁が発表しており、139万円の消費を取り戻すには外国人観光客6人分、宿泊を伴う国内観光客20人分、日帰り観光客71人分相当が必要。観光客が増えることで地域の所得が増え、それが地域への還元につながるものと考えている。

問 住民への還元での部分で、なかなか住民に取り組みが伝わっていないのではないかと感じるが行政の認識は。

町長 住民の皆さんに伝わりきれていない現状はある。役場と住民の皆さんの交流の場を通じて今後しっかりと説明し、これからも理解と信頼を得ていきたい。

地域づくり応援課の業務について

森山充議員



問 昨年4月に新設された地域づくり応援課の活動内容は。

地域づくり応援課長 令和7年度は支所窓口業務、地区振興会等の各種団体支援、部活動地域移行に伴う合同部活動の移動支援、公共施設の維持管理および地域の課題を各課へつなぐ役割を担ってきた。8年度からは加えて、シルバー人材センターの人手不足に対応するために、委託していた除草業務の一部を行なっている。地域や団体の方と接していく中で、地域のニーズや課題を把握し、町政につげていきたい。

問 町の関わるイベントの開催実績、考えるイベントの効果とは。

商工観光課長 町内外からの人を呼び込めるような観光誘客事業、町への交流人口、関係人口の増加につながるイベントに対して補助しており、令和7年度は5団体に補助を行なった。団体の方で課題の洗い出しを行い、次年度以降の開催に備えている。

町長 人と人とのコミュニケーション、つながりが化学反応し、新たな振興であったり町の発展につながるということで、イベントについては大事なことを考えている。



松岡公民館まつり&きらめきステージ

介護用品支給事業の改正内容は

問 おむつの価格を考慮すると、今まで二千元の支援なので、最低額は二千元で、その上で介護度の高い人には手厚い支援。というように考える。高齢者への支援拡充を願う。

町長 必要なサービスが必要な方へ。が基本なので、介護度の高い方へサービス拡大した。福祉サービスを落とそうとしているのではなく、次に繋げ、より充実させていくための改正。

長岡千恵子議員

問 介護用品支給アンケートの内容は。

福祉保健課長 ①介護認定区分 ②1ヶ月間の介護用品の購入金額 ③課税、非課税の区分 ④購入しているおむつの種類。結果、利用者の7割が、要介護1から5の認定者で、介護度が高くなるほど1ヶ月当たりの購入金額が高い。非課税世帯の利用が3割。

問 介護用品の支給金額が75歳以上と要支援1、2は月額千円。要介護1、2は月額二千元。要介護3、4、5は三千元。これ以外に漏れはないか。

福祉保健課長 介護度の高い人の負担率が高いので改善した。支援に漏れはない。



介護用品支給対応のおむつ

学校給食の課題はどうする

中村勘太郎議員



問 給食施設の整備には、少子化による小中学校の統合の大きな課題が重なる。町全体の動向を踏まえて議論を進めたいが。町長 学校給食の統廃合の大きな課題が重なる。町全体の動向を踏まえて議論を進めたいが。町長 給食施設の整備については一度整理をし直し、議員と意見交換を重ね、今年度方向性を出す。

町長 今年度中に、教育委員会がしっかりと現場に入り方向性を示す。また、食育推進委員会からは、給食センター方式を進める意見もある。議会も特別委員会を設立して、建設的な意見を願う。



調理員との意見交換会

特色ある地域の稼げる農業の推進は

川崎直文議員



問 「第二次永平寺町農業基本計画（令和7年3月策定）」にある具体的な戦略の「特色ある地域の稼げる農業を推進」の取り組み状況は。

農林課長 町内産のいちほまれは主に関東圏で取引をされており今後さらなる販路拡大に向け、県と連携しPR活動を引き続き継続する。

生産者、町、県、JAからなる「いちほまれの里推進協議会」が品質向上、ブランド化に取り組む。

・酒米では永平寺テロワール推進協議会が県の協力を受け、品質向上や収量増に取り組む。

・酒造好適米の安定生産支援事業（温暖化に対応した技術導入にかかる費用を支援）で酒米作付を推進する。

・土地利用型作物の小麦は、品質、作業性の改善で「福井県大3号」から「夏黄金」への移行を県、JAとともに進める。

昨年より実施している町内各地での試験栽培で生育、収量を確認し移行する。



令和7年11月にAKOOMEYA TOKYO in la kagūにおいて「永平寺町産いちほまれ」のPR販売

4期目の町政に望むこと

齋藤則男議員



問 既成概念や前例にとらわれない小さな町が、国や県を動かすような大きな独自の事業や施策に取り組んでほしいと望む。

町長 国や、県の顔色をうかがうのも大事なことが、受け身や待っている町政でなく、攻めの町政は。

また、やる気のある職員の登用や職員のアイデアを採用し実行する。そして失敗を恐れず常に前向きに取り組む姿勢を見せる。部下が失敗しても、責任を取らせない。信頼することが、大切ではないかと思う。

そして、発想の転換。逆もまた真なり。これまでのありきたりの流れにこだわることない政策に取り組んでいただきたい。

町民みんなを巻き込んだ「あつ」と驚く施策の展開を期待する。

町長 物価高、中東問題、少子高齢化、住民が不安の中、そこに力点を置いて、予算を組んだ。観光や地方創生、国、県の補助金を活用し、各種省庁の事例を調べ補助を受け、住民が安心して安全に不安なく生活できることが大事だと思う。

そして、若い職員の活躍の場、発言の場をしっかりと持っていく。



議会の状況

松岡藩の超人気にもっとスポットを

松川正樹議員





松尾芭蕉の俳句

問

松岡藩は本当に根強い人気がある。どこから語り出しても話が広がる。これからもスポットを当てようと張り切っていたら、松尾芭蕉の自筆による手紙がFBCのテレビ番組「何でも鑑定団」に出てきた。しかも、その松尾芭蕉の俳句は地元の天龍寺で読まれた、あの「物書きて扇引きさく余波哉」だった。もうびっくり仰天で、勿論、本物！800万円の鑑定。この俳句のどここの語句に着目しても盛り上がる。もう一回「物書きて」に注目し直しても良い。

南先生の「松岡藩シリーズ」の講演も中身が濃く、住民も今一度、あの時代にタイムスリップされたらどうか。

今回、第一回永平寺町文化財特別講座を銘打った松岡藩の成り立ちから廃藩まで。生涯学習課長、住民を代表して意気込みを表明してほしい。

生涯学習課長

今回の松岡藩の講座も町民の関心が高まっている。松岡十二曲りは沿線の有志の方々の取り組みで、風情ある街道をまち歩きする方々が内外から訪れるスポットを願っている。

世界情勢の影響と対策について

清水紀人議員





もう一つの質問
防災気象情報から

問

地域経済対策として、世界情勢の変化による影響は自治体単独では避けられない課題。町民生活と地域経済への影響を最小限に抑えるため、今後はどのような危機管理を考えるか。

契約管財課長

今までもできる限り町内事業者への発注に努めてきた。今後も引き続き的確な情報収集につとめ、状況に応じて分割発注など、町内事業者の受注機会の確保に努める。

商工観光課長

事業者への支援については、主に制度融資、金融機関や商工会との情報交換を密に行い、事業者のニーズに応じた制度融資拡充と充実に努める。

町長

今いろいろなことを想定しながら臨機応変に、議会にも一つ一つ相談する形になる。

町内会運営への支援を

滝波登喜男議員



問

町内会が今大変だ。住民の減少や高齢化で役員の担い手不足。町内会に加入しないなど、存続すら危ぶまれている。昨年の議会と語ろう会である区長が、区民が減少し残された者への負担が大きいと訴えていた。行政が届かない生活課題を共助で補う町内会を、行政が支援を行う必要があるのでは。

町長

区長から「10年後には区と区の合併が必要だ」「役員を広域でできないか」などの意見を聞く。町内会に依頼している多くの役職について見直すよう各課に指示している。

問

町内会の実態を調査し、自治体の今後のあり方を検討する必要があると思うが。

町長

近いうちに実態を把握し、ワーキンググループなどで今後の方向性を探るようなアクションを起こす。

災害関連死ゼロを目指して

問

災害関連死は、能登地震でも死者の6割と言われている。災害関連死をゼロにする取り組みが重要で、避難所で快適かつ長期間過ごせることが、命を守ることに繋がる。トイレやベッドなどの開発が進んでいるが。

町長

新しい災害グッズがどんどん増えている、計画的に備えている。ただ、自分が生きるための自助と自治会など助け合いの共助が大事で、防災訓練を通して住民の意識向上に努める。

総合的な学習（探究）の現状は

上田誠議員



問

探究的な学びは日本のみならず世界的な動きで、自ら問いを立て、それに答える学習→生徒の主体性を養う学習。現状は。

教育長

従来の知識習得型学習を補完しながら、学びに対する主体性を持たせ、自ら課題の設定→情報収集整理分析→まとめ発表までの学習を目的とする。小学校低学年は体験を通じ興味関心→学びを深める。小3（中学では、ふるさと教育（環境、防災、地域資源、良さ、生活、課題など）でえいへい愛を育む教育を地域と連携し生きる力を養う学習を実践している。

問

今後の方向性は。

教育長

教科でも課題を持つ取り組みや、子ども達がわくわくしながら探究活動できるような地域と連携を進める。

急がれる高齢者対策当町では

報道で高齢者数のピークは2040年。介護職員57万人不足→介護難民続出。介護保険サービス持続危機。要員は人手不足と公費負担上昇。県内認知症高齢者は8人に1人の見出し。地域で支え合う共生社会の支援体制は。

福祉保健課長

種々の施策を実施している。社会福祉協議会、医療福祉サービス機関、民生委員、公民館、自主防災支援機関と住民と行政が連携し支援体制を構築し進める。

志比北地区の今後の地域づくりビジョンは

清水憲一議員



問

休校状態から再開校するための基準は。学校教育課長

統廃合基準である1学年3人が複数にならないようにする。

問

現在の志比北小学校校区の幼児数は。学校教育課長

0歳児3人、1歳児2人、2歳児1人、3歳児2人、4歳児3人、5歳児1人。これから継続と考える。

問

「廃校は終わりでなく始まり」廃校にして、民間の力を使って地域振興すべきと考えるが。

町長

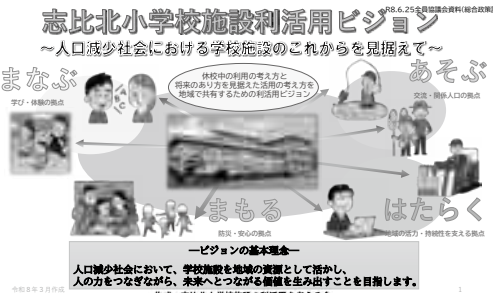
休校という大前提に従い、町、各種団体、地域の方々が一体となって進捗策を打っていく。

通学路における防犯灯の設置を

問

田んぼ中の道路には地区単位での要望、光害の影響等、考慮すべきことは。防災安全課長

LEDの防犯灯については、影響が出るとのこと。農産物への害を抑えるため、ある程度角度調整することができ。設置については要望に沿った形で検討する。



奨学金および教育ローン利子へ支援を

金元直栄議員



問

長期金利が二気に上昇し、住宅ローンや奨学金、教育ローンの返済に大きな影響が出ている。今こそ利子へ支援すべきではないか。

学校教育課長

教育資金の支援給付は利用者が少ないため、新規受付は昨年終了した。一方で奨学金は大学生2人に1人は利用している。現在はい住支援課がUターン定住就業を条件とした奨学金返還支援制度へ移行して充実させている。

町長

金利も上がって支援の必要な世帯へは検討すること考えていく。

問

国の食糧法改定の狙いは。政府は食糧法の改定案を示しているが、内容は米の価格の安定を目的から外し、米価がどうなるも国の責任ではないとしている。昨年の米不足と高騰の責任も誰も取っていない。農林課長

内容は3つの柱があり①生産調整に関する規定の削除②需要に応じた生産③米の備蓄は民間備蓄の制度化となっており、動向を注視したい。

町長

食糧安全保障という点からも十分考える必要がある。

子ども子育て支援金の拠出は

問

公的医療保険から、子育て支援金が広く徴収されているが、これで何が変わるのか。保育士の配置基準や処遇改善はどうなるのか。

子育て支援課長

この支援金は財源の二つで、社会全体で子育ての仕組みづくりが目的。児童手当の拡充、妊婦のための支援給付や、こども誰でも通園制度。給与等の処遇は、人事院勧告に基づき実施。新配置基準への対応も進めている。

4年間

ありがとうごさいます

水防訓練



福井ケーブルTV

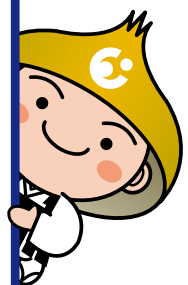
えい坊
チャンネル

6月議会 再放送日程

8月28日(金)～約2週間ほど 毎日放送

毎朝6:00～ 夜24:00～ 約2時間番組

令和8年6月定例議会のケーブルテレビでの再放送日程は、8月28日(金)から2週間ほど、毎日朝6時からの2時間と24時からの2時間、同一内容を放送致します。放送内容は会議日程の順番に沿って毎日変わります。議会生中継をご覧になれなかった方、興味のある方は是非ご覧ください。



次回定例会は

9月1日(火)
開催予定

議場で傍聴できます。ぜひお越しください!

役場本庁舎3階までお上がりください。
エレベーターもごさいます。事前申込不要!



議会HP

永平寺町議会だより **みでの** 第83号

<https://www.eiheiji-gikai.jp/>

発行 永平寺町議会

編集 議会広報特別委員会

議会日程や議事録が閲覧できます。



表紙が「永平寺町議会だより みでの」に変わった第60号(令和2年10月16日発行)に“今号から議会だよりの表紙のテーマが変わりました。議会と皆さんの心を近づける議会だよりを目指しております。”とあります。さらに“議会と皆さんの心を近づける議会だより”に取り組みます。

(川崎 記)



議会活動レポート
HPです。
議会のいろんな活
動が見られます。